

index

特集

- 結核感染を知る方法
- 微生物検査室の紹介

トピックス

- 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会
- 絵画の寄贈
- 「限度額運用・準備負担額認定証」についてご存知ですか？

イベント紹介

- 新人職員消火器訓練
- 苗植え
- 看護の日
- ホタルの放流

お知らせ

- 食育を考えるワークショップ・江南
- 看護師・助産師募集
- 公開医療福祉講座のお知らせ
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー



病院理念

- 一. 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一. 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一. 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

結核感染を知る方法

結核が、今も新しい患者さんが発生している重大な感染症であることを知っていますか？

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。咳や痰が2週間以上続いたり、熱がでたりしてスッキリしない時は要注意です。

結核菌は、患者さんの咳とともに喀出された飛沫の中に存在しますが、飛沫の水分が蒸発した後も結核菌がむきだしの状態で空気中をただよい、それを直接吸い込むことで感染します。こうした感染を空気感染といい、感染力が高いのが特徴です。ただし、感染しても必ず直ちに結核を発病するわけではありません。100人が結核菌に感染した場合、結核を発病するのは10人から15人程度で、残りの人は一生発病しない経過をとります。

結核を発病する場合、感染してから6ヶ月から2年以内に発病する人（一次結核症）と、数年から数十年を経てから発病する人（二次結核症）とがいます。若者は結核未感染者がほとんどのため、いったん結核患者が発生すると集団感染から一次結核がおりやすい状況にあります。また高齢者は、昔感染したものの発病せず体内に生き続けた結核菌が、体の抵抗力が落ちてから活動性を取り戻し、二次結核を発病すると思われる。近年、若者と高齢者に目立つ結核の増加には上記の様な特徴があるのです。

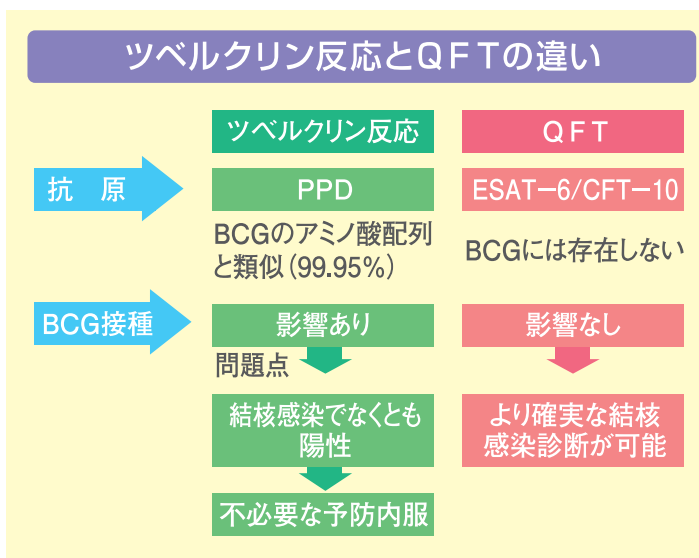
では、結核発病につながる感染を知る方法として、どんな検査があるかご存じですか？

以前は、ツベルクリン反応がその方法でした。しかしツベルクリン反応は、BCG接種によっても陽性化するため、BCGによる予防接種が普及している日本では、ツベルクリン反応の結果で結核に感染したか否かを判定することは困難で、せいぜい参考程度でしかありませんでした。

そこでツベルクリン反応にかわって、血液中の白血球（Tリンパ球）の反応を用いた新しい検査が開発されました。この検査は、採血から分離された白血球と結核菌の2種類のタンパク質を試験管の中で反応させます。この反応で、白血球がインターフェロンγという化学物質を産生すれば「陽性」、即ち「結核菌に感染した」ことがある、逆に化学物質を産生しなければ「陰性」、即ち「結核菌に感染していない」と判断します。この結核感染を知ることができる検査が、クオンティフェロン検査（QFT）です。現在は第3世代



呼吸器内科部長
山田 祥之



のタンパク質を試験管の中で反応させます。この反応で、白血球がインターフェロンγという化学物質を産生すれば「陽性」、即ち「結核菌に感染した」ことがある、逆に化学物質を産生しなければ「陰性」、即ち「結核菌に感染していない」と判断します。この結核感染を知ることができる検査が、クオンティフェロン検査（QFT）です。現在は第3世代

になり、より高感度なクオンティフェロンTIGゴールドが用いられています。

QFTは、BCG接種には影響されずに結核感染を診断することができます。この検査の普及で、結核感染の有無を診断することが可能となり、結核に感染した人の発病を防ぐための治療(潜在性結核感染治療)が、よりの確にできるようになってきました。現在、結核患者が発生した時に、患者家族や接触者への結核感染を知る方法として普及が進んでいます。

Special feature article ②

特集

微生物検査室の紹介

微生物検査室の紹介

感染症とは、細菌やウイルスなどの病原微生物によって起きる病気のことです。例えば、肺炎や傷口の化膿もこれにあたります。

微生物検査とは、感染症を引き起こす病原微生物を調べる検査です。当院の微生物検査室では細菌に対する検査を中心にを行っています。

患者さんから採取された検査物の中にどのような細菌がいるかを顕微鏡で観察したり、寒天でできた培地といわれるものに検査物を塗って細菌を発育させたりしています(培養検査)。細菌が培地に発育してきたら、この細菌がどのような名前であるかを調べる検査(細菌同定検査)とどの抗生物質が効くのかを調べる検査(薬剤感受性試験)を行っています。これらの結果をもとに細菌による感染症の治療が行われています。また培養検査が困難な微生物については、免疫学的検査法や遺伝子学的検査法を用いる場合もあります。

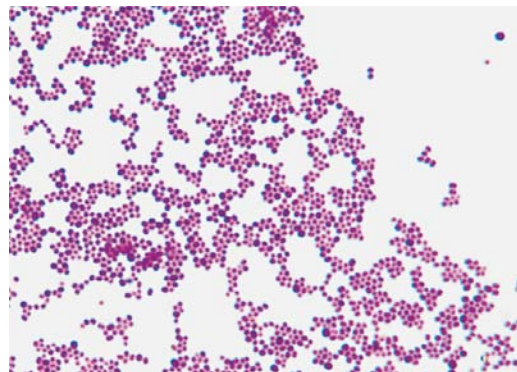
私たちは、常に感染症で苦しんでいる患者さんの治療に役立つ検査を目指しています。



臨床検査技術科 主任技師
中根 一匡



培地に培養された黄色ブドウ球菌



顕微鏡で見た黄色ブドウ球菌
(名前の通りブドウの房状に見えます)

● 新人職員消火器訓練

4月27日(金) 新入職員約150名を対象に江南市消防本部協力のもと消火器・散水栓取扱訓練を実施しました。また、同時に模擬環境で火災による煙の恐ろしさも体験しました。火災発生時に迅速な対応ができるよう、普段使用することのない消防設備の操作に真剣に取り組みました。



4月27日

● 看護の日

5月10日(木)～11日(金)2日間で看護の日のイベントを開催しました。今回は『災害に備えて今私達にできること』をメインテーマに、写真、非常食の展示や職種別のミニ講座、BLS(一次救命処置)体験、健康相談などを実施し、90名近くの方が参加されました。



5月10日・11日

● ホタルの放流

5月16日(水) 和みの庭の小川へ300匹のホタルの幼虫を放流しました。ホタルが舞う風景を楽しみに去年から小川の環境を整備してきましたので、多くの幼虫が無事に羽化し、飛び立ち、きれいに光を放ってほしいものです。



5月16日

Event イベント紹介

● 苗植え

当院では「食育」活動として、こども医療センターに入院中の院内学級児童とともに野菜の栽培をしています。5月7日(金)に種まき(苗植え)を行いました。子どもたちが毎日水やりを行い、収穫を心待ちにしています。



5月7日

主催 愛知県厚生連

第1回 食育を考えるワークショップ・江南

会場

平成24年9月1日(土)
14時～16時45分

日時

江南市民文化会館(大ホール)
愛知県江南市北野町川石25-1
TEL (0587)55-2321

参加費 無料(事前登録不要)



講師: 竹下和男先生

1949年(昭和24年)、香川県生まれ。同県内の公立小・中学校長を歴任。全国的に広がる「弁当の日」の創始者で、定年退職後、平成22年度からフリーで執筆・講演活動を展開中。主な著書には「台所に立つ子どもたち」「泣きみそ校長と弁当の日」などがあり、NHK「子ども週間ニュース」、フジテレビ「とくダネ!」「テレビ寺子屋」、日テレ「スッキリ」「NEWS every」など、報道出演多数。

お問い合わせ先 江南厚生病院栄養科(担当:朱宮) TEL:0587-51-3333(代表)

東海北陸地区臨床研修病院合同説明会

5月13日(日)「ポートメッセなごや」にて、東海北陸地区133の臨床研修指定病院が参加し、合同説明会が開催されました。当院も毎年参加していますが、今年も一人でも多くの医学生に見学に来ていただけるよう、院長をはじめ指導医6名、研修医12名が、臨床研修内容などを個別に説明しました。



絵画の寄贈

4月18日(水)江口医院(扶桑町)の江口孝理事長より絵画を寄贈していただきました。伊那谷から南アルプスを望む初夏の風景画で、病院を訪れる人に見ていただけるよう2階エスカレーターホールの壁に飾らせていただきました。



医療福祉相談室から

「限度額適用・標準負担額減額認定証」についてご存じですか？

75歳以上の方は「後期高齢者医療制度」に加入し、医療を受けています。この制度は、県内の全市町村で設立された後期高齢者医療広域連合が運営しています。医療機関などの窓口で支払う医療費の一部負担割合は、所得に応じて1割または3割となります。

一部負担割合が1割負担で市町村民税非課税世帯の方は、保険証とともに「限度額適用・標準負担額減額認定証」をあらかじめ医療機関へ提示することで、1か月の自己負担限度額が軽減されます。

例えば、同一医療機関で限度額を超えている場合、医療機関などの窓口での支払いが1か月の外来の自己負担限度額は8,000円になり、限度額を超える分の支払いがなくなります。また入院に関しては、1か月自己負担限度額は24,600円もしくは15,000円に減額されます。対象者でありながらこの制度のことをご存じないことが多いのが現状です。「限度額適用・標準負担額減額認定証」の申請は、各市町村の「後期高齢者医療」の窓口です。

何か不明な点がありましたらお気軽に医療福祉相談室もしくは医事課へご相談下さい。



看護師・助産師募集

平成25年4月採用の看護職員を募集します。

看護部病院説明会開催予定	
7月20日(金)	9:30~12:00(開場9:00) 江南厚生病院2階講堂にて 病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学 参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。 詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。 ※選考会は7月27日(金)・8月17日(金)に行います。 お問い合わせは 看護管理室 まで TEL 0587-51-3332
8月 4日(土)	
8月31日(金)	

2012年公開医療福祉講座のお知らせ

江南厚生病院では、地域住民の皆様向けに、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。今年度は、以下のような企画をしております。参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

7月 2日(月)	がん患者さんとご家族の希望をつなぐ「緩和ケア」	がん看護専門看護師 主任 祖父江 正代
8月10日(金)	今、糖尿病の治療を見直そう	内分泌・糖尿病内科 部長 有吉 陽
9月 6日(木)	こどもの感染症	こども医療センター 副センター長 西村 直子
10月18日(木)	乳がん術後のホルモン療法	乳腺内分泌外科 部長 飛永 純一
11月15日(木)	冬場に注意したい感染症 ～インフルエンザウイルスと感染性胃腸炎について～	感染管理認定看護師 師長 仲田勝樹／大城和人
12月14日(金)	腰痛に対する運動療法	リハビリテーション科 理学療法士 鈴木 貴士・松永 崇裕

場所
江南厚生病院
2階講堂



時間
13:30~14:30

お問い合わせ
医療福祉相談室まで
TEL(0587)51-3333

● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。
※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

●暑い季節が始まります。昨年の東日本大震災により脱原発の気運が高まり、電力不足が予想されることから、節電のために今年もエアコンの温度設定を高くすることになります。これからの暑い季節を乗り切るために、睡眠をしっかりとり、栄養バランスに気を配るなど、体調をくずさないよう工夫してください。

2012年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ● 午後休診

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

●発行日/平成24年7月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300